



ADA, EASD, IFCC, IDFによるヘモグロビンA1c測定の国際標準化に関するコンセンサス・ステートメントに対する糖尿病関連指標専門委員会の見解

日本臨床化学会 糖尿病関連指標専門委員会

富永 真琴¹, 渥美 義仁², 雨宮 伸³, 五十嵐雅彦¹, 石橋みどり⁴, 梅本 雅夫⁵, 岡橋美貴子⁶, 桑 克彦⁷, 高加 国夫⁸, 三家登喜夫⁹, 須郷 秋恵¹⁰, 武井 泉¹¹, 永峰 康孝¹², 宮下 徹夫¹³

¹山形大学医学部器官病態統御学講座液性病態診断医学分野, ²東京都済生会中央病院内科, ³埼玉医科大学小児科, ⁴慶應義塾大学病院中央臨床検査部, ⁵中間法人HECTEF SRセンター, ⁶病態解析研究所, ⁷筑波大学大学院人間総合科学研究科臨床医学系, ⁸東京都済生会中央病院臨床検査科, ⁹和歌山県立医科大学付属病院臨床検査医学, ¹⁰横浜市立大学市民総合医療センター臨床検査部, ¹¹東京歯科大学市川総合病院内科, ¹²徳島大学医学部歯学部附属病院診療支援部, ¹³日本大学医学部附属板橋病院臨床検査部

Key words : HbA1c, IFCC法, コンセンサス・ステートメント

1. ADA, EASD, IFCC, IDFによるヘモグロビンA1c測定の国際標準化に関するコンセンサス・ステートメント

2007年6月にアメリカ糖尿病協会 (American Diabetes Association, ADA), ヨーロッパ糖尿病学会 (European Association for the Study of Diabetes, EASD), 国際臨床化学連合 (International Federation of Clinical Chemistry and Laboratory Medicine, IFCC), 国際糖尿病連合 (International Diabetes Federation, IDF) はヘモグロビンA1c (HbA1c) 測定の国際標準化に関するコンセンサス・ステートメントを発表した (図1)。

ポイントは以下に要約できる。

①HbA1cの測定体系と測定値の報告について

では、国際的に標準化されるべきである。

②HbA1cの測定はIFCC法¹⁾を基準測定法とする測定体系によって標準化する。

③HbA1c測定値の報告は国際的にはIFCC値 (単位: mmol/mol) および, IFCC - NGSP*関係式により得られるNGSP値 (単位: %) を併記する。

④現在行われているHbA1cと平均血糖値との相関に関する研究で, それが基準を満たせばHbA1c測定値の解釈のために“HbA1c換算平均血糖値” (A1C derived average glucose, ADAG) も報告することになるであろう。

⑤臨床ガイドラインに盛り込まれる治療目標としてのHbA1cはIFCC値 (mmol/mol), 換

注*NGSP: National Glycohemoglobin Standardization Programの略語で, 従来から, 欧米において主流となっているHbA1cの標準化プログラムのことである。